

搾油粕を飼料に使える! なたね新品种

ペノカのしずく

「ペノカのしずく」は2022年に品種登録された、エルシン酸含量とグルコシノレート含量が低いダブルローなたね品種です。食用油原料はもとより、搾油粕は飼料にも利用できます。



品種の
特徴

- ◆ エルシン酸とグルコシノレート含量が低い
- ◆ 越冬性が優れる
- ◆ 収量性が優れる

育成期間:2011年▶2018年

搾油粕を飼料に使える！ なたね新品種

ペノカのしずく

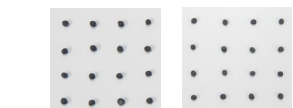
「ペノカのしずく」は寒冷地での生育に優れ、油は食用、搾油粕は飼料に使えるダブルローなたね品種です。
アイヌ語で「天の川」を意味する「ペノカ」となたね油の「しずく」を組み合わせ命名しました。

品種の特徴

- エルシン酸含量とグルコシノレート含量が低いダブルロー品種で、搾油粕は飼料にも利用可能
- 北海道において、収量性や含油率は「キザキノナタネ」と同程度に優れる
- *エルシン酸:健康への安全性が疑われており、食用油では含有しないことが望ましいと考えられている
- *グルコシノレート:家畜が摂取すると甲状腺機能低下や甲状腺肥大を引き起こす。

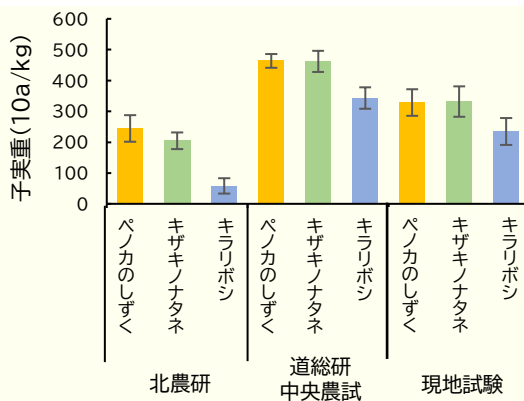
栽培上の注意

- 種子増殖の際は、交雑を避けるため他品種との距離が十分に離れた圃場を設置してください。
- 一般栽培では、採種圃由来の種子を使用し、アブラナ科植物から十分隔離して栽培してください。
- 連作や数年の間になたねを栽培した圃場は避けてください。



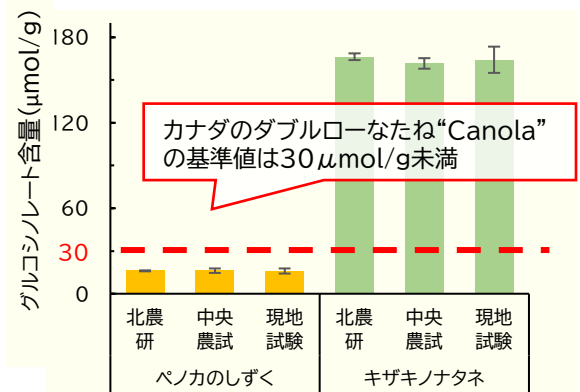
それぞれ
左:キザキノナタネ
右:ペノカのしずく

北海道内における収量



北農研:芽室町、道総研:長沼町、
現地試験:岩見沢市・安平町・滝川市の平均

グルコシノレート含量



カナダのダブルローなたね“Canola”の基準値は30μmol/g未満

■北海道農業研究センター芽室拠点における「ペノカのしずく」栽培特性と品質

品種名	抽苔期	成熟期	越冬 個体率 %	草丈 cm	千粒重 g	含油率 %	エルシン酸 含量 %
ペノカのしずく	5.04	7.14	78.4	134	4.0	43.4	0.1
キザキノナタネ	5.02	7.17	77.4	127	4.8	41.8	0.1
キラリボシ	5.17	8.02	49.7	125	3.1	38.9	0.0

(2019年~2021年平均)

農研機構 北海道農業研究センター・東北農業研究センター

問い合わせ先

北海道農業研究センター研究推進部研究推進室広報チーム
TEL 011-857-9260



E-mail



URL